

# 備前市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol.4 2017年2月

発行/編集：備前市保健福祉部医療福祉連携課



## 在宅医療・介護連携推進協議会の第4回目が開催されました。

2月1日(水)に第4回の会合が開かれました。市内の4病院を軸とした、備前圏域、日生圏域、三石・吉永圏域の3つの圏域に分けて地域包括ケアを展開していくことを決め、それぞれの圏域内での医療と介護の連携を推進し、不足するサービスは圏域を超えて支援しあうこと等を確認しました。

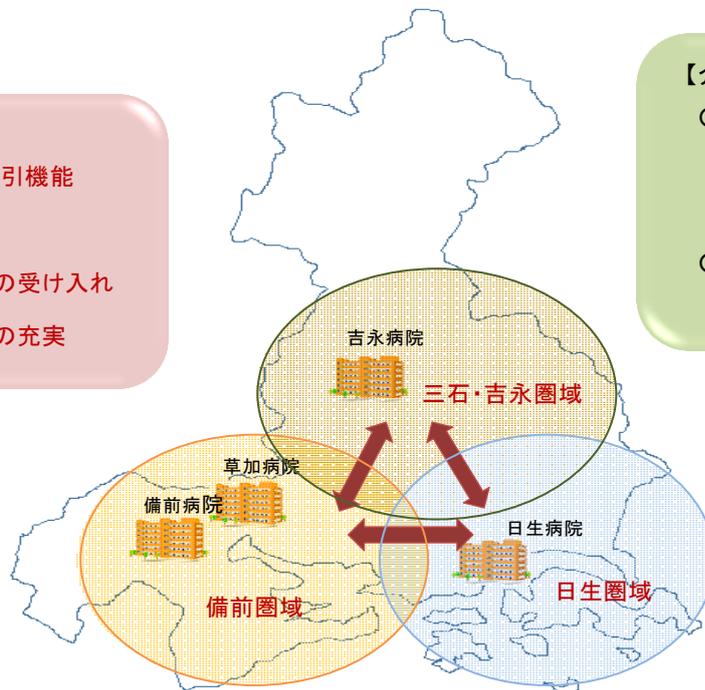
また、今年度策定予定の「備前市病院事業改革プラン」の内容と整合性がとれていることを確認しました。

### 【医療の課題】

- 地域包括ケア牽引機能
- レスパイト機能
- 夜間・休日救急の受け入れ
- 往診・訪問診療の充実

### 【介護の課題】

- サービスの地域偏在
  - ・リハビリ(訪問、通所)
  - ・訪問看護
  - ・へき地地域のサービス提供体制
- 医療との連携不足
  - ・情報共有が不十分



### 【行政の役割】

- 地域ケア会議から市の施策化へ
- 普及啓発活動
- 人材育成



## 次年度の協議会活動について検討。

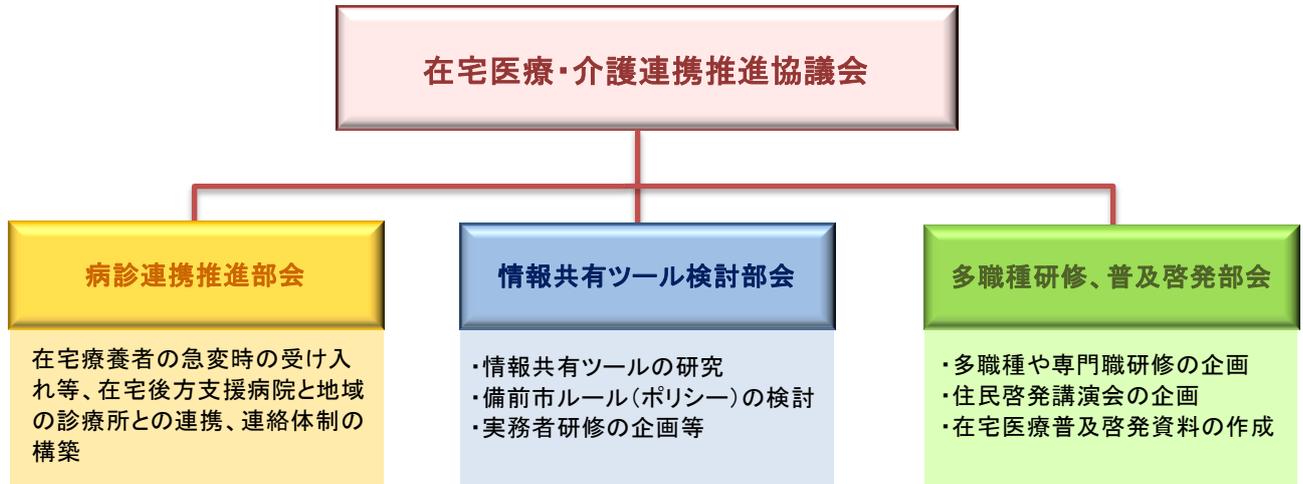
医療・介護関係者がタイムリーに情報共有することは、より良いサービスの提供には欠かせないことです。情報共有シートの統一様式については、現在の情報共有の仕方について調査、分析をし、試験運用中のケアキャビネットの効果と合わせて、さらに検討を行うこととなりました。

また、市民が在宅医療や介護について適切に理解し、在宅での療養を選択肢としてイメージできるようになるために、どのように啓発活動をしていくかを協議しました。地域で出前講座を開催することや、在宅療養を支援する専門職の紹介、多職種での取り組みの現状などを市広報紙で情報発信していくこと等を決めました。



## 専門部会設置。

これまで協議会で話し合われたことを受け、より具体的な検討を行う場として、3つの専門部会を設けて、在宅医療・介護連携を推進していくことになりました。



## 多職種研修(多職種ミーティング♥びぜんエリア)の報告

3回めの専門部会活動として、びぜんエリアの多職種参加による交流会が草加病院で、2月22日(水)に開催されました。在宅療養のキーマンであるケアマネージャーから、退院後の在宅療養の様子や入退院を繰り返している現状の報告があり、介護支援をしていく上で医療との切れ目のない連携の必要性について話題提供がありました。入院で患者の生活が分断されないよう、患者の思いにそった支援や介護者支援の重要性について確認し合い、医師を中心としたチームで『時々入院、ほぼ在宅療養』を推進していくことを共有しました。



### <編集後記>

委員のみなさまには、市民が安心して暮らせる町づくりを目指して、各専門職の代表として、現状や課題整理に熱心にご協議いただきました。次年度からは部会に分かれて、具体的な検討を進めてまいります。

#### 【事務局】

備前市保健福祉部医療福祉連携課  
〒705-8602 備前市東片上 126  
TEL：0869-64-1875 FAX：0869-63-4206  
E-mail：bziryoudenkei@city.bizen.lg.jp

